実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和 7 年度
助成団体	栃木県那須塩原市
事業細目名	総合型地域スポーツクラブ創設支援事業
事業名	一般社団法人プラスク
助成金額	1,080,000 円

令和 7 年度総合型地域スポーツクラブ活動助成で、創設支援事業を行っている栃木県那須塩原市及びその間接助成団体である「一般社団法人プラスク(以下、プラスクという。)」の調査を実施しました。

プラスクは令和 5 年に創業後、令和 6 年に法人格を取得し、現在は、スポーツを通じた地域活性化を目的とした総合型スポーツクラブの設立を目指して活動をしています。主な活動として、設立準備委員会の開催をはじめ、市の運動公園や学校施設等を利用した月 2～4 回のスポーツ教室体験会、さらには年数回のイベントも開催しており、令和 8 年 3 月の設立に向けて準備を進めています。

調査当日はかけっこ教室を見学しました。13 名の小学生が参加しており、指導者の合図に合わせたリズム運動や、ボール遊びを取り入れたトレーニング、コートを広く使ったランニングと工夫を凝らしたプログラムが展開されていました。子どもたちが終始楽しそうに活動している様子が印象的でした。

■助成の意義

助成を受けることで指導者への謝金や会場借料、スポーツ用具費に充てられることができるため、多くの体験教室の開催や新たな教室の開講にもつながっているとのことです。また、広告にも費用をかけられることで、チラシや SNS による体験会の告知が可能になるため、新規会員の集客のための告知をすることができるとのことです。

■事業効果を高めるための取り組み

教室体験会の実施にあたっては、多くの活動を展開するために、定期利用団体のいない施設を有効活用しているそうです。

広報面では自社のホームページでの募集案内や SNS による活動紹介のような情報発信に加え、学校の協力を得た体験会のチラシ配布などでの周知に注力しているとのことです。また、地域にニーズがありながら、他の団体が実施していない活動種目を取り入れることで差別化を図っており、クラブ創設に向けて積極的な取り組みを行っています。

■所感

今回の視察を通じて、プラスクと那須塩原市との強固な連携体制を確認することができました。現在、プラスクは部活動の地域展開の取り組みにおける受け皿として、既にその役割を担い始めています。

一方で、利用団体が多い場合の施設利用の制限や、指導者不足、地域特有の送迎問題といった課題もあるそうです。しかし、将来的には幅広い年代の参加を目指し、スポーツを通じて生きがいを提供できるクラブ作りを目指している姿勢がうかがえました。引き続き、プラスクが行政との強い連携を維持しながら、これらの課題を地域全体で解決するための取組みを進め、地域に根差した総合型クラブとして設立され、発展していくことを期待しています。

（令和 7 年 12 月 5 日往査）

（写真）かけっこ教室の様子	
	